

海外医療福祉建築研修 2011

～研修計画のご案内～



Penn State Hershey Medical Center (Pennsylvania)

2011年9月17日(土)～9月28日(水) <12日間>

コーディネーター

河口 豊

滋慶医療科学大学院大学 教授 工学博士

企画

一般社団法人 日本医療福祉建築協会

ご案内

本年度の海外視察は、米国東海岸とカナダのハミルトンの医療・介護施設を計画しています。優れた建物を長く使うサステナブルな建築が環境問題と文化の点から進められようとしています。省資源などでは課題を抱えている米国ですが、質の高い建物をきちんと維持管理し長く使うという文化やそれに対する社会の認知は伝統があり、医療・介護施設についても同様です。そこでわれわれがこれからの人口減少社会において、準備しなければならない建物の増改築・改修と維持管理など参考となる施設を視察したいと計画しました。是非、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

* 視察訪問先 (予定) 紹介 *

● Bellevue Hospital Center

マンハッタンにある都市型病院の増改築。マッキム・ミード・ホワイト設計の歴史ある既存施設に I.M. ペイ事務所が果敢に挑んだ秀作。

● Smilow Cancer Center

イェール大学附属病院の癌センター。当センターの計画に合わせ、病院機能を効率的に再統合している。設計は東部の名門事務所シェプラー・ブルフィンチ。

● Kings County Hospital Center

ブルックリン地区の中心にあり、低所得者層の患者が多い病院の増築。低予算、厳しい建築規制の条件下で行われたもの。設計は SOM。

● McMaster Medical Center

約 22m の大スパンの空間を連続させ、高いトラス梁を ISS として設備階とし、増改築に備えた 40 年前の病院のサステナブルの状態と、徹底した SPD を見学する。設計はゼイドラ一設計事務所。

● Brigham and Women's Hospital

ボストンにある著名な病院。手術部にアンギオや画像機器を融合した計画。この種の構成でも最も斬新な計画。設計はペイエット事務所。

● Payette Associates Inc.

ボストンに事務所を構える。医療施設や最先端の研究施設などの設計で有名な事務所。大規模コンプレックスを低層展開させ、連続する美しいライトコートで構成したアガ・カーン大学病院 (パキスタン、カラチ) は世界的に有名。

● Leonard Florence Center for Living

米国上院財政委員会が 2009 年に可決したオバマ医療改革で推奨された「グリーン・ハウス・モデル (我が国のユニット・ケアー)」で計画され、都市部での実現第一号と認定された高齢者施設。設計はデメラ・シェーファー事務所。

● B3C at MGH

ハーバード大学の教育病院であり、米国を代表する病院であるマサチューセッツ総合病院が創立後 3 世紀目に入ったことを記念して行われた増築計画。設計は、NBBJ のニューヨーク事務所。

● Perelman Center for Advanced Medicine

陽子線治療施設などを含んだペンシルベニア大学病院の高度診断治療施設。設計は、パーキンス・イーストマン事務所と東京フォーラムで有名なラファエル・ヴィニオリ事務所の JV。

● Penn State Hershey Medical Center

ペンシルベニア州立大学医学部付属病院の癌センター。効率的なトランスレーショナル・リサーチ実現のため、従来の「部門的発想」を捨て、臨床と研究の新しい関係を模索した意欲作。設計はペイエット事務所。

* 日程表 *

月日 (曜)	都市	現地時間	交通機関	概要	機
1 9月 17日 (土)	東京(成田)発 ニューヨーク着	午後 午後	航空機 専用バス	空路ニューヨークへ *****日付変更線通過***** 着後ホテルへ 夜: 食事会 <ニューヨーク泊>	機 × D
2 18日 (日)	ニューヨーク			終日: ニューヨーク建築自由視察 <ニューヨーク泊>	B × ×
3 19日 (月)	ニューヨーク		専用バス	午前: Bellevue Hospital 午後: Yale-New Haven <ニューヨーク泊>	B × ×
4 20日 (火)	ニューヨーク ニューヨーク発 バッファロー着	夜 夜	専用バス	午前: Kings Country Hospital Center 夕刻: バッファローへ移動 夜: 着後ホテルへ <バッファロー泊>	B × ×
5 21日 (水)	バッファロー発 ボストン着	午後 夕刻	専用バス 航空機	午前: McMaster Medical Center 着後ホテルへ <ボストン泊>	B × 機
6 22日 (木)	ボストン		専用バス	午前: Brigham and Women's Hospital 午後: PAYETTE <ボストン泊>	B × ×
7 23日 (金)	ボストン		専用バス	午前: Leonard Florence Center for Living 午後: B3C at MGH <ボストン泊>	B × ×
8 24日 (土)	ボストン ボストン発 フィラデルフィア着	夕刻 夜	専用バス 航空機	夕刻: 空路フィラデルフィアへ 夜: 着後ホテルへ <フィラデルフィア泊>	B × ×
9 25日 (日)	フィラデルフィア			終日: フィラデルフィア建築自由視察 <フィラデルフィア泊>	B × ×
10 26日 (月)	フィラデルフィア		専用バス	午前: Penn State Hershey 午後: Perelman 夜: ホテル着後、夕食会 <フィラデルフィア泊>	B × D
11 27日 (火)	フィラデルフィア発 ニューヨーク着 ニューヨーク発	午後	専用バス 航空機	バスにてニューヨークへ 帰国の途へ <機内泊>	B × 機
12 28日 (水)	東京(成田)着	午前		帰国到着 通関後解散	機 × ×

※諸般の事情により訪問先や日程変更の可能性があることをご承知おきください。

